

平成28年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

シートNo.1

◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。  
◆館の重点評価項目は、坂井輪図書館が重点的に取り組んだ事業。

中心図書館名：坂井輪図書館

区分	施策・事業名	概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目	・市民に身近な課題解決のためレファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・西区のレファレンス件数は17,406件で、前年比4.2%増加した。 ・職員のスキルアップのため、レファレンス研修に参加した。	・坂井輪図書館ではレファレンスカウンターを設置しているため、よりきめ細かい対応を行うことができた。 ・坂井輪図書館がモデル事業として行っていた民間貸出において、司書による選書を団体1件につき1カウントしているため、レファレンス件数が伸びた。 ・モデル事業により、団体貸出の需要を把握し、司書の選書のスキルアップを図ることができた。 ・レファレンス事例を蓄積し、情報共有を図った。	3 大変評価する。 85.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。 0%	・レファレンスが図書館の機能として利用者に着実に定着していると思われる。レファレンス事例の蓄積と情報共有を継続し、今後さらなるスキルアップを期待する。
	◆館の重点評価項目	レファレンスサービスのPR	・西区広報誌で、レファレンスについての紹介記事を掲載した。 ・黒埼図書館では、レファレンスPRのため、過去のレファレンス回答事例の掲示や利用者に提供した資料を展示した。	・窓口では、気軽に問い合わせをしてもらえるような環境づくりを心掛けた。 ・今後もより多くの方から図書館を活用してもらうために、レファレンスについての案内掲示やPR方法について検討する。	3 大変評価する。 71.4% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。 14.3%	・レファレンス回答事例の掲示、提供資料の展示はPRに効果的だと思う。レファレンスは専門用語で内容が伝わりにくいため、レファレンスについての説明と事例の紹介の冊子やパネルがあっても良いと思う。 ・PR不足の感が否めない。素晴らしいスキルを持っており、利用者を満足させる力があるのにもつたいないと感じている。レファレンスという言葉自体が馴染んでいないのかもしれないので、わかりやすい言葉にするなど工夫してほしい。
特色ある地域づくり図書館	◇全館共通評価項目	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を行う。	・坂井輪図書館では、新潟の芸術や新潟出身の作家など新潟県に関係する展示を行った。 ・内野図書館では、内野出身の作家である藤沢周氏の展示コーナーを継続して設置した。 ・黒埼図書館では、山田慶二氏の絵画を継続して展示した。	・新潟に関連する展示を行うことで、郷土資料についてPRができた。また、利用者に郷土に関する知識を深めてもらうことができた。	3 大変評価する。 85.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。 0%	・内野図書館の藤沢周氏の展示コーナーは目を引きとても良いと思う。今後も少しずつ手を加えながら継続してほしい。特に内野町が描かれた作品を重点的に紹介してほしい。 ・坂井輪図書館の入り口すぐにコーナーがあり、目立つ工夫がされていて目にとまる。
	◆館の重点評価項目	郷土・行政資料の収集と整理	・坂井輪図書館では郷土・行政資料を積極的に収集し、3,485冊から3,909冊に増加した。	・新潟に関連する新刊本の購入を積極的に行ったり、広報誌で行政資料や郷土資料の寄贈を呼び掛けたりしたこと、目標を達成することができた。	3 大変評価する。 71.4% 2 ある程度評価する。 28.6% 1 評価できない。	・400冊超の資料を収集しており、素晴らしいと思う。今後も新旧織り交ぜて資料収集を行っていただきたい。
子ども・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目	子どもの読書環境の整備	・西区ではブックスタートを1,153人に実施した。(対象者数1,228人、実施率93.9%) ・赤ちゃんタイムは、西区3館すべてで実施している。また、坂井輪図書館では、全日2階一部フロアを子どもとみんなの広場として運用している。	・多くの方にブックスタートを実施することができ、乳幼児期の読書活動について広く働きかけることができた。 ・健診時に図書館のPRも行った。坂井輪図書館は健診会場から近い場所にあるため、健診後に図書館を利用される親子も多くいた。	3 大変評価する。 57.1% 2 ある程度評価する。 42.9% 1 評価できない。 0%	・坂井輪図書館の2階フロアの子どもとみんなの広場は親子連れでにぎわっており、活気を感じて良い。にぎやかさにより、親子連れ気楽に気兼ねなく遊びに行ける場所としての図書館のイメージが定着してきていると思う。
	◆館の重点評価項目	子どもの読書環境の整備	・子どもや親子を対象した事業の参加者数は、3,772人から3,233人と14.9%減少した。 ・地域のイベントに参加し、本の貸出やしおりづくりを行い、子どもと保護者に図書館のPRを行った。	・新たな取り組みを模索し取捨選択した結果、目標を下回った。 ・参加型イベントや小イベントは継続して実施し、参加してくれた子どもたちには、図書館の楽しさをPRできた。	3 大変評価する。 42.9% 2 ある程度評価する。 57.1% 1 評価できない。 0%	・脱出ゲームや絵本のシリーズ総選挙などとても新鮮な参加型の企画を活発に行っており、利用者に図書館の楽しさ、本の魅力をアピールできていると思う。
市民参画と協働推進型図書館	◇全館共通評価項目	ボランティアや教育機関・民間団体等との協働	・西区自治協主催の講演会等に「おでかけ図書館」として参加し、講演会の関連本の展示や本の貸出などを行った。 ・地域住民や大学、商店等と連携して「うちのキッズらんど」、「大人の絵本ライブ」などの事業を実施した。 ・共催、協働事業の実施件数は30件と昨年とほぼ同数であった(H27年度31件)。	・自治協議会主催の講演会には、関連本等の展示を毎年依頼されるようになり、地域とより良い関係が築かれている。	3 大変評価する。 57.1% 2 ある程度評価する。 42.9% 1 評価できない。 0%	・積極的に他団体との協働、イベント共催を行っており、活動がしっかり根付いているようで良いと思う。 ・図書館が能動的になることで、館自体の周辺環境も大きく変わる。今後も続けてほしい。
	◆館の重点評価項目	民間団体等との連携	・登録団体数はH27年度の12団体から25団体に増加した。 ・H27年度までの貸出累計冊数が1,944冊だったところ、H28年度末までには8,760冊に増加した。	・積極的なPR活動のほか、テレビ等で紹介されたこともあり、利用団体、利用件数が大幅に増加した。 ・利用者の要望を聞き取り、司書がセレクトして貸し出すので、コミュニケーションをとりながら、利用者に喜ばれる本選びに努めた。 ・H29年度10月から全市であらたな団体貸出制度を実施することとなった。	3 大変評価する。 85.7% 2 ある程度評価する。 14.3% 1 評価できない。 0%	・マスコミの力はやはりすごいものがある。今後も継続して民間団体等の協働体制を進めてほしい。 ・団体貸出制度の登録団体数、利用件数の大幅な増加、利用者の要望に応えるセレクトの努力はすばらしいと思う。25冊で1セットとするアイデアは、今後さらに利用しやすくなると思うので良いと思う。 ・利用する側としてとても助かっているので、今後も頑張してほしい。